

TechDAS

「Stereophile」2020 Recommended Components

ターンテーブルのクラスで Air Force One Premium が A+、Air Force V が A、フォノカートリッジのクラスで TDC Ti が A の評価をいただきました。

レビューワー:マイケル・フレイマー

Turntable Class A+:

TechDAS Air Force One Premium \$162,000

TechDAS Air Force One の標準バージョンは A1 を獲得し 6 年間トップの座を保持した。今回マイケル・フレイマーは同機の Premium バージョンを試聴した。これは自動エアポンプやエアサスペンションシステムの空気圧を自動的にモニターする機能などが加わり、オリジナル Air Force One のさらに上に行く。マイケル・フレイマーのレビュー機にはオプションのチタンアッパープラッターが付属していた(これが付属しない場合は\$145,000)Graham Engineering Glite Tonearm をつけて試聴したが、この Air Force One Premium は”超静寂なバックグラウンド、楽器のサステイン、ディケイ音の豊かな表現性、ニュートラルなスペクトラルバランス、ダイナミックなプレゼンテーション…などでマイケル・フレイマーを感動させた。

Turntable Class A:

TechDAS Air Force V \$19,500 (アームなし)、Phantom III tonearm とのセット価格 \$24,500

一般的な意味とは違うが、TechDAS Air Force V は同シリーズの他機種の中では”手頃な”ターンテーブルと言える。マイケル・フレイマーによれば、この最新の TechDAS ターンテーブルは、定評のある TechDAS の全ての主要な機能、素晴らしい製造品質、クレバーなエンジニアリングを持っている。プラッターのエアベアリング、バキューム吸着、AC モーター内蔵、切削アルミによる堅固なシャーシ、最大 4 本までトーンアーム装着可能(アームボード追加は有料オプションとなる)という主要機能を兼ね備えている。Graham Engineering の Phantom の最新 B-44Mk III バージョン、SAT CF1-09, Thales Statement などのアームをつけて試聴したが、AF V は驚異的な静寂、シャープでクリーンなトランジェントの響き、素早く心地よいリズム&ペーシングを Michey に聞かせた。但し”V は豊かなルームサウンドの表現力という点では TechDAS の他の上位機に及ばない”と述べている。

Phono Cartridge Class A:

TechDAS TDC Ti: \$12,500

日本のターンテーブル専門メーカーTechDAS のために My Sonic Lab の Yoshio Matsudaira が製作。彼は Air Tight, Haniwa 等のカートリッジも製作した。注目すべきことに、このチタンのケースを持つ TDC01 Ti の重量は 17g、価格は\$12,500 である。さらに 1.4 オームという低い内部インピーダンスと 0.45mV という驚異的な高出力を兼ね備えている。TechDAS がこの TDC01 Ti に 100-200 オームという想定より高い負荷インピーダンスを推奨している点も素晴らしい。マイケル・フレイマーは CH Precision P1/X1 フォノプリアンプの出力を電流ゲイン入力に誘導することによりこれを回避した。このように使うことにより、このカートリッジはこのデザイナーでは珍しい”圧倒的にダイナミックなスラム音”を聞かせた。また Matsudaira 特有の艶のあるサウンドと相まって、ストリングスは歌い、バターのような女性の声のテクスチャーを表現する心地よいなめらかな音を聞かせた。製造品質は、マイケルフレイマーによればこの価格で期待する通りの高品質である。